

## 横浜戸塚西クラブの社会奉仕委員会活動2022～23年度

委員長 西村英二  
副委員長 高倉茂実  
委員 板嶌 仁

クラブ活動が1年単位とされる中、社会奉仕活動も1年ごとの計画と考えていらっしゃる方もいますが、当クラブは支援先の組織が事業計画に継続的に組み入れていることと推察して、その期待に沿うべき支援として下記4大活動をクラブ基軸活動としています。

### 1. 「かしおこども食堂」への支援

戸塚区社会福祉協議会と協議の末、バック組織の苦しい団体への支援を基として夏休

みの行事食、年末での行事食の食材費を一部補助支援することを決議して実施。

### 2. 「JRPS神奈川支部(難病認定網膜色素変性症協会)」への支援

奉仕活動を研究する中、数多くある難病に触れる中で身近でご苦労されている家族のスピーチを頂き、その団体へと絞り込むと同時にクラブ全会員が考え抜いたことが、支部活動の一部補助で支援金を継続していくことを決議して実施。

### 3. 「あすなる」への支援

神奈川県社会福祉協議会で活動している会員より、養護学校の団体が開催する夏季のスポーツ大会・冬季の文化展示会での行事に対して健やかに育成されることを願い、賜杯の一部を提供することを決議して実施。

### 4. 「霧多布湿原保存」への支援

元会員による自然保護の大切さのスピーチにより、皆が温暖化等の危惧に触れている現在、広大な湿原の保存団体(NPO法人)に会員として会費納入による活動支援を決議して実施

特に本年は、過去に2009年の神奈川で実施された大会に支援をしたことから、2023年9月23日に開催される「世界網膜の日」シンポジウムの全日本大会が神奈川県での開催との決定を受け、今回2023年9月24日(日程の諸事情により1日遅れ)に実施されることから、支援先のJRPS神奈川支部より会場等で準備と実施のサポートにオファーがあり、委員会として2.の活動に重点を置いています。